



平成30年4月採用



新規採用職員からのメッセージ

県北地方振興局企画商工部地域づくり・商工労政課
伊藤 香菜（行政事務）

●現在の仕事の内容

私が所属する県北地方振興局企画商工部では、市町村をはじめとした関係機関と連携し、商工業の振興、観光のPRなど、様々な面から県北地方を活性化させる取組を進めています。

私は、主に、商工会や商工会議所が行っている「小規模事業者等を支援する事業」についての補助金の支給や監査など、地域の商工業を支えるための業務を行っています。

●県職員として働いて感じたこと

職場では聞き慣れない言葉が飛び交っていて、働き始めた頃は電話を取り継ぐことさえも緊張していました。しかし、職場の上司・先輩方のサポートで、日々の仕事を1つずつ覚え、1年近く経った今では、県職員として基本的な仕事を身に付けることができました。

また、水曜日と金曜日にはそれぞれノー残業デーとリフレッシュデーが設けられているため、自分の時間を確保して十分にリフレッシュし、仕事とプライベートの両立ができることも、とても嬉しく思っています。



●県職員を志望した理由

私は中学生の時に東日本大震災を経験しましたが、その後、何不自由なく生活することができました。それは、県内各地で復旧・復興に向けた県の施策が行われているためであるとニュースを通して知り、生活を支えている県の施策に、自ら幅広く携わりたいと考えました。

●採用後の研修などについて

新規採用職員研修では、他の部署や市町村の同期の仲間と、同じ悩みや不安を共有したり解決したりでき、とても貴重な経験となりました。人脈を広げる良いきっかけにもなり、今でも研修で知り合った同期の仲間たちと連絡を取り合っています。



●試験の対策や情報の入手方法

筆記試験対策では、難しい問題を解いた後には、友人と解き方を共有するなど工夫しながら勉強していました。個別面接の対策としては、県のHP等を参考に、県の施策についての知識を習得し、自分の考えをまとめていきました。

●受験者へのメッセージ

皆さんの中には、進路や勉強方法について悩んでいる方もいると思います。私も、たくさん悩んだ時期がありましたが、学校の先生や友人に何度も相談し、乗り越えることができました。受験には休息も必要です。部活やプライベートでリフレッシュしながら頑張ってください！